

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市鹿野児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク	
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和4年度 21,870人(前年度比 121.0%) ・令和3年度 18,071人 ・令和2年度 17,045人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 40,512千円 (40,995千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館地域運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク）による自己評価》
<p>『笑顔・笑声あふれる児童館』をスローガンに、感染対策に十分配慮しながら工夫・改善に努め、利用者に安心して楽しんでもらえるような児童館運営を心掛けた。職員も常に明るく笑顔を絶やさずに、数多くの行事・催し物を企画・運営して子供たちのより質の高い健全育成と一人ひとりを大切にしたい子育て支援に取り組んだ。多くの利用者から『職員が明るい』『温かい雰囲気』『毎日でも利用したい』という声が多く寄せられたことは大変ありがたかった。</p> <p>小学生対象の季節行事である七夕飾り作り、かくし芸大会では、運動能力を高めるプログラムや多様な体験を通じた学びを提供することができた。「かめのこ工房」では、ペットボトル風鈴作り、竹とんぼ作り等を行い、子供たちの企画力・集中力を高めることができた。「かのっこ畑」では、サツマイモや大根などを土作りから収穫まで体験させ、自然体験活動の充実に努めた。</p> <p>子育て家庭支援事業は、いつも参加申込が殺到し、キャンセル待ちが出るほどの大人気だった。民生児童委員共催の「お茶Berryサロン」や幼児クラブ「びよこ・ノコ」では参加者同士の情報交換を通して子育て中の親子の輪を広げることができた。子育て支援クラブ「バンビ」主催・共催のまちたんけんの他、七夕会、ハロウィンイベントなどの行事は大きな地域交流推進の場になった。</p> <p>児童クラブ運営では、子どもの安心・安全を第一に、危険回避能力や問題解決能力、自尊感情、自己有用感などを身に付けることができるよう目配り・心配りを心掛けてきた。安全面では、防災マニュアルの見直しと共に身を守るための安全指導を徹底してきた。自然環境面では、メダカ、サンショウウオ、カナヘビなど多くの小動物とふれあう場、「鉱石・岩石」「金魚」コーナーを設けるなど「魅力ある・地域の皆に信頼される児童館」づくりの推進に努めた1年であった。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、高学年対象の「たのしクラブ」を登録制で開催した。4月に子ども達の意見を反映させた年間計画を子ども達と立案し、季節行事や創作活動、七北田公園遠足や映画鑑賞等の館外活動を通じた社会体験も取り入れながら実施し、自主性と社会性を育んだ中高生を対象とした「プラットホーム」を土曜日の夕方に実施した。遊戯室の利用を優先したり職員とおしゃべりが楽しめるようにしたり安心して来館できる環境作りを行い、利用増加に繋がっている。来館時に行事のポスター作りや絵本の整理を手伝ってもらう等、中高生が活躍できる場を提供することで自己有用感を育みながら安心して過ごせる場となるよう支援している。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、音楽やリズムを楽しむ「わいわいタイム」、季節等をテーマにしたお話を楽しむながら工作や多彩な体験活動を楽しむ「おはなしドンドン」等、親子同士が触れ合いながら、交流を図れる場を定期的に提供し好評を得ている。「ほっとサロン」では、子育て相談員を迎えて、発達等に関するグループ相談を実施し、その中で保護者同士の情報交換もできるよう支援する等、安心して子育てができる環境作りに努めている。</p> <p>地域交流推進事業においては、子育て支援クラブの協力のもと、「まちたんけん」を実施した。地域の方と交流しながら、自分達が住んでいる地域について子ども達自身で新たな発見も得られ、世代間交流を図ると共に自分達が住む地域への理解を深める取り組みとなっている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、プラバンやアイロンビーズ、ぶよぶよボール等人気の制作を取り入れた「プチかめのこ工房」を、年間通して定期的に開催する等、日々の遊びを通して子ども達の遊びへの意欲や興味関心を引き出しながら、遊びの充実に努めている。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課